



日本銀行 甲府支店

支店長 長江 敬

## 年頭のご挨拶

山梨県中小企業団体中央会の会員の皆様におかれましては、輝かしい新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、国内では自然災害が相次ぎ、海外では米国トランプ政権の外交・通商政策が多くの国に様々な影響を及ぼしました。このように 2018 年は、国内外で不確実性が一段と高まった年であったと言えるのではないのでしょうか。

そうしたもとで山梨県経済は、製造業で高水準の生産が続くなか、企業の設備投資や個人消費が増加し、緩やかな拡大が続きました。年後半には、工作機械や半導体関連の企業から米中貿易摩擦の影響等による受注減少の声が聞かれるようになりましたが、昨年 12 月公表の短観では業況判断DIが良好な水準を維持するなど、県内経済が拡大基調にあることが確認されました。

今年の県内経済を展望すると、基本的にはこれまでの緩やかな拡大が続くことが期待されます。もっとも、米中貿易摩擦の影響の広がりや 10 月の消費増税に伴う駆け込み需要と反動など、リスク要因が少なくないのも事実です。さらに、深刻化する人手不足、世界規模での情報化社会の進展など、企業にとって対応すべき課題が山積している状況でもあります。

このような厳しい環境が想定される時こそ、各企業が将来を見据え、生産性の向上や新たな付加価値の創造に向けて、設備投資や研究開発、時代の変化に即した形での経営体制の見直しなどに取り組むことが求められます。日本銀行としても、企業の方々の取り組みを強力な金融緩和で支援する所存です。

今年は平成の時代が終わり、新たな時代が始まる記念すべき年です。新しい年が会員の皆様にとりまして更なる飛躍の年になりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。